

令和5年9月1日
農林水産部畜産振興課

報道関係者各位

新たな県産種雄牛「福秀165(ふくひで165)」号の誕生について

このことについて、本県では、和牛の改良と「総称山形牛」のブランド力の向上を図るため、優れた県産種雄牛の作出に取り組んでいます。

「福秀165」号は、歴代県産種雄牛の中において、歩留基準値及びMUF A割合（一価不飽和脂肪酸：おいしさ(口どけ)に関連)が優れていることが明らかになったことから、新たな種雄牛として本日（9月1日）デビューしますので、取材くださるようお願いいたします。

記

◆「福秀165」号

◇ 生産者 尾花沢市 折原 剛 氏
(おりはら たけし)

◇ 生年月日 平成30年4月8日

◇ 血統 肉質の評価が高い県産種雄牛「安秀165(やすひで165)」号を父に持つ。母「ゆりふく」の脂肪交雑の育種価(遺伝的能力)は県内トップクラス。

◇ 能力 歴代県産種雄牛※¹の中で、歩留基準値が歴代1位
MUF A割合のゲノミック育種価ランクが歴代1位タイ



◆ 検定成績

枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm ²) (ロースの大きさ)	歩留基準値※ ²	脂肪交雑※ ³ (BMS No.)	上物率(%) (4等級以上の割合)	MUF A割合 (一価不飽和脂肪酸)
484	66.7	<u>75.7</u>	9.2	92.3	<u>A</u> ※ ⁴

【参考】これまでの最高値及び種雄牛

536	71.9	75.6	10.1	100.0	A※ ⁴
冬景21 (気高系)	冬景21 (気高系)	神安平 (但馬系)	幸紀陸(気高系) 美勝喜(但馬系)	翼満開 (気高系)	美勝喜 (但馬系)

※¹ 現行の検定方法となつて比較できる県産種雄牛として16頭目。但馬系種雄牛としては7頭目。

※² 枝肉からどれ位の部分肉を得られるかを示す値(A:72以上、B:69以上72未満、C:69未満)。

※³ 脂肪交雑(BMS No.)は霜降り度合いを示す値でNo.12が最も良い。

※⁴ ゲノミック育種価:牛の毛根、血液あるいは耳片を採取し、遺伝子の配列を解析して遺伝的能力を評価する手法。「A」は上位1/4以内であることを示す。

【問い合わせ先】

農林水産部畜産振興課
畜産ブランド推進主幹 鈴木 徹
TEL 023-630-2471

〔報道監〕

農林水産部次長 齋藤邦仁